



没後 200 年記念 **コシチューシコ・シンポジウム**

タデウシュ・コシチューシコ（1746～1817年）は、1794年に起こったポーランド・リトアニア共和国の存亡を賭けた民族蜂起の指導者であり、国家滅亡期（1795～1918年）のポーランドにおいて民族的英雄として語り継がれた人物です。本シンポジウムでは、没後200年を迎えたコシチューシコの人物と蜂起を、その背景、環大西洋革命との関わり、映像の中での記憶などの問題を手掛かりにしながら、多角的に再検討します。

主催：ポーランド広報文化センター  ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

共催：フォーラムポーランド組織委員会

後援：大正大学

2017年10月28日（土）13時～18時20分 大正大学 西巢鴨校舎5号館531教室（入場無料）

報告① 白木太一（大正大学） 「1791年5月3日憲法からコシチューシコ蜂起へ」

報告② 小山 哲（京都大学） 「環大西洋革命を生きる—タデウシュ・コシチューシコの軌跡」

質疑応答と休憩

映画上映 ①『ヴォイチェフ・コッサク、クラクフ市場広場におけるコシチューシコの誓い』

②ユゼフ・レイテス監督『ラツワヴィツェのコシチューシコ』（1938年、日本未公開、英語・日本語字幕付き）

解説 久山宏一（ポーランド広報文化センター）

質疑応答

司会：柴 理子（城西国際大学）

アクセス（都営地下鉄三田線 西巢鴨駅 徒歩2分、JR埼京線板橋駅 徒歩10分、都営バス掘割バス停 徒歩3分）

